おかざき自然体験の森保全活動実施計画の概要　申請者：岡崎市、コニックス（株）　【維持タイプ】

【実施区域・面積】

愛知県、39.6ha

【生態系タイプ】

里山林、水田

【実施区域の状況】

岡崎市の北部にある八ツ木町周辺の丘陵地を活かした「おかざき自然体験の森」は、生物多様性の豊かな里山を様々な人々によって再生・維持しつつ、自然を活用した各種の体験を通じて、自然体験型環境教育を実践する場である。農業体験や自然観察会など、様々な環境学習プログラムを実施している。

【目標】

イヌカタヒバ、ヒメタイコウチをはじめとした多様な動植物が生息・生育する里地里山の生態系を保全し、あらゆる世代が参加できる体験プログラムに活用し、環境教育を推進する。

【主な活動内容】

二次林では、必要な間伐、除伐などの森林管理や伐採などの竹林管理を行う。

水田では、化学農薬及び化学肥料を使用せず、水田における環境への負荷を減少させるとともに、ビオトープを設置し、中干し期間中、湛水する。

【モニタリング計画】

鳥類、両生類、昆虫類、植物を対象として、①二次草原ゾーン：草原内に設定したルート沿い②水田ゾーン：水田、ビオトープ２、ヨシ原、食草園③里山林ゾーン：林内に設定したルート沿いにおいてモニタリングを適宜実施。

【実施体制】

岡崎市は施設の整備方針等の決定や市広報誌を用いた情報発信を行う。

コニックス（株）は施設の維持管理・運営の他、動植物のモニタリングや自然観察会をはじめとしたイベントの企画・運営を行う。







【計画期間】

令和８年10月～令和13年９月